

# いちかわの未来へ 着実な歩み

平成29年度が始まりました。市議会2月定例会において大久保市長は、市の将来を見据え持続可能なまちづくりを進めていくために、これまで以上に力強く市政運営に取り組む所信を表明しました。

また、田中教育長は、本市教育の基本理念「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」の具現化に向けて歩みを緩めることなく、不易と流行

を見極めながら、子どもを取り巻く諸課題に対応していくと述べました。

共通するのは、長期的な展望に立った継続性ある方針です。今号では、この施政方針・教育行政運営方針に基づく新年度の具体的な施策や事業を紹介します。

☎334-1104企画課・☎383-9201教育政策課

## 平成29年度 施政方針

### 基本方針

美しい景観のまちの実現

福祉の充実と生活の安定

行財政改革の推進

## 平成29年度 教育行政運営方針

### 基本方針

新規事業に係る施策の充実

点検及び評価の結果に基づく施策の改善

新たな教育課題などへの対応

▲大久保 博 市長

▲田中 庸恵 教育長

### 基本方針に基づいて取り組む新年度の重要な施策(主なもの)

#### 安心なまちづくり

- 結婚を希望する若い世代への支援  
市が実施するさまざまなイベントなどを活用した、出会いと交流の場の提供
- 子育て世代と親世代の支え合いの支援  
多世代で同居や近居を始める家族の住宅購入などに対する補助金の支給
- 待機児童対策  
保育園の整備や私立幼稚園での預かり保育拡大などによる児童の受け入れ枠の拡大と、保育士の就業環境整備
- 地域防災力の強化  
災害時に全ての人が安心して避難所生活を送るための運営体制整備と実践的な訓練の実施
- 台風や大雨被害への対策  
必要ときに自由に取り出せる地域型小規模土のうステーションの設置拡大



▲待機児童対策を進めて子育てしやすい環境を整備

#### 快適なまちづくり

- 市役所新庁舎の整備  
現在の本庁舎解体と新第1庁舎の建設着手、一時移転に伴う仮本庁舎・JR本八幡駅間の送迎バスの運行
- 美しい景観のまちづくり  
市民や事業者などとの協働による取り組みの推進とイルミネーション設置や街路樹などの整備
- スポーツ環境の充実  
北市川運動公園の整備と総合型地域スポーツクラブの活動支援
- 世界女子ソフトボール選手権大会の事前キャンプ誘致に向けた各国への働きかけ
- オリンピック・パラリンピック関連事業  
スポーツへの関心を高めるための、ラグビー選手との交流機会の創出



▲市民との協働で美しいまち並みをつくる景観協定

#### 活力のあるまちづくり

- 道の駅の整備  
外環道路による人の流れを市内に呼び込み、市の魅力を伝える新たな拠点となる道の駅の整備
- 地域ブランド活性化の支援  
地域ブランド「市川のなし」の積極的PR、トマト栽培経営者などへの支援、道の駅などでの商品PRなど
- 地域の消費喚起  
市内の飲食店で使用できるプレミアム付き「市川市ふれあいグルメ券」の発行
- 行徳地区の歴史と文化のまちづくり  
旧浅子神輿店の改修や「笹屋うどん」の復刻など、新たな観光スポットの創出
- 市民主体の文化・芸術活動を盛り上げる「文化イヤー」  
春と秋の年2回、市内の文化施設でイベントを開催することで、市民主体の文化・芸術活動のさらなる普及など



▲自慢のおいしさ「市川のなし」

### 施政方針 教育行政運営方針 とは

施政方針とは、新年度を迎えるにあたって、市長が向こう1年間の市政運営の基本方針や主要な施策を示すもので、例年市議会2月定例会の冒頭、予算案などの審議に先立って演説が行われます。教育委員会については、教育長が同様に教育行政運営方針を示します。施政方針と教育行政運営方針の全文は、市公式Webサイトで公開しています。

### 基本方針に基づいて取り組む新年度の重要な施策(主なもの)

#### 子どもの姿

- 「校内塾・まなびくらぶ」の充実  
確かな学力を育成するために実施してきたこれまでの取り組みの中から、より効果的な方法を広く周知し、市内全体で改善と充実を促進
- 道徳教育の推進  
日頃のあいさつなどの実践やマナーなど規範意識の醸成に重点を置いた、社会の中でよりよく生きるための本市独自の心の教育を充実
- グローバル化に対応した英語教育  
全小・中・義務教育学校に派遣するALT(外国語指導助手)や小学校に派遣する外国語活動指導員を活用し、きめ細かな指導・支援を実施



▲放課後や長期休業中に基礎的学力の定着を支援する「校内塾・まなびくらぶ」

#### 家庭・学校・地域の姿

- 小中一貫教育・市川版中高一貫教育(学校間連携)  
義務教育学校「塩浜学園」の小中一貫校としての施設一体化に向けた設計を行うほか、中高連携に向けた教育研究を推進
- 教職員の多忙化解消に向けた取り組み  
部活動の運用改善など学校現場の業務改善を推進し、教職員の長時間労働の軽減と働き方の意識改革を促進
- コミュニティ・スクール導入研究の推進  
研究指定校を18校に増やし、地域住民や保護者などが学校運営に参画する仕組みの導入に係る研究を推進



▲コミュニティ・スクールを導入した塩浜学園で行われる学校運営協議会の様子

#### 市川の教育の姿

- 子どもたちの安全・安心  
子どもたちの安全確保と効果的な学習指導のためのスクール・サポート・スタッフを配置する他、精神的な悩みに適切に対応するためのライフカウンセラーを活用
- 学校支援実践講座  
市民を対象に「いじめ問題」をテーマとした講座を引き続き開催し、小・中学生との交流会を通して学校に対する地域支援者としての意識を醸成
- 生涯学習環境の整備  
生涯を通じた市民の学習環境の整備と利便性の向上を図るため、中央図書館の蔵書管理にICタグを導入



▲生涯学習を支える拠点の一つ中央図書館